

Letters

—坂井市市勢要覽—

Contents

-Letter 1-

笑顔になれる場所 4

Message 私たちが笑顔になれる坂井市 6

-Letter 2-

誰もが笑顔で暮らせるまち 8

三国湊を語る 10

日本一、「心」が集うまち 12

-Letter 3-

坂井市の躍動 14

心を豊かにする食と観光のまち 16

みんなで広げるまちづくり集 18

坂井市 City Guide 20

一筆啓上 未来の坂井市へ 23





- Letter 1 -

住む人にやさしく、

訪れる人にあたためたい坂井市では、

今日も人と人が結びつき、

幸せ色の「心」が生まれています。

そんな心を感じさせてくれる、

そして、心を豊かにしてくれる坂井市は、

今日もいろんな笑顔で輝いています。

坂井市テーマソング
「しあわせの花」
プロモーションビデオ



市政10年を記念して制作された映像です。坂井市内のきれいな風景とたくさんの市民の笑顔が収められています。





360度VRが体験できます
QRコードを読み取れば、360度
VR画像が目の前に広がります。お
手持ちのスマートフォンやタブ
レットでお試ください。



- Letter 1 -
笑顔になれる場所

九頭竜川の恵みがもたらす豊饒の坂井平野と、ときには厳しい姿を見せる日本海
北陸を代表する名勝東尋坊の絶景、武骨で気高くそびえる現存天守の丸岡城…。

四季折々、彩り豊かな表情がある坂井市は、たくさんの人の笑顔と共に、
にぎわいのある明るい未来を紡いでいきます。





MOVIE!



360度
VR!



①6月に15万輪のゆりが咲く、ゆりの里公園 ②日本さくら名所100選の一つ、現存天守の丸岡城 ③秋、ソバ畑の中をのんびり走るえちぜん鉄道 ④北前船交易で栄えた三国湊には、歴史の風情を感じさせる町並みが残る ⑤北陸を代表する三国花火大会は水中花火が見もの ⑥三国港突堤沖の日本海に沈む夕陽 ⑦色鮮やかな桜が春風にそよぐ、たけくらべ広場のしだれ桜 ⑧大地を金色に染める豊かに育った稲穂 ⑨雄大な姿に圧倒される東尋坊



- Letter 2 -

坂井市に住む人、訪れる人

みんなのことを想うまちづくりを

坂井市は進めています。

全ての世代が健やかで

安心して暮らせる

子育てや学校、仕事、地域の中で

心から笑顔になれるまちです。



子育て中の親子が気軽に集う
子育て支援センター



行き届いた
支援がとても
安心です。

明るく元気に子どもが育つ
保育園



子育て

- Letter 2 -

誰もが笑顔で 暮らせるまち

都市機能と自然が調和し、教育環境が充実している坂井市。安心してのびのび子育てができることから、近年は子育て世帯や働き盛りの30〜40歳代に「住みやすいまち」として選ばれています。子どもの医療費助成や、市内各所にある子育て支援拠点、保育の充実、地域に根ざした放課後児童クラブなど、様々な支援を行っています。学校や家庭、地域などの社会全体で相互に協力した教育を展開している他、郷土愛を育む地域活動、住み慣れた場所で元気に過ごせる福祉活動や健康づくりなど、各世代にわたって笑顔ある暮らしが広がっています。

家族みんなで
笑顔の日々を
送っています。



子どもも、パパもママも、
のびのび育つ環境

全ての世代が
住みやすさを実感

丸岡城下を駆け抜ける
坂井市古城
マラソン



生涯学習 スポーツ

年齢・性別を
問わず誰でも
参加できます。

子どもたちの
声に
寄り添います。



教育

魅力ある
学校づくり



福祉

リズムにのって
楽しく体を動かす
音楽・体操
いきいき教室



住み慣れた
地域で元気に
過ごせます。

地域住民で
高齢者の生活を支え合う
生活・介護支援サポーター



健康

一人ひとりが
自ら取り組む
健康都市



みんなが
一緒だから楽しく
取り組めます。

元気なうちから始める
フレイル予防

日本遺産認定

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～



三国湊を語る

北前船寄港地として繁栄し、商業の発展とともに町人文化が開花した三国湊。ふるさと三国の歴史と文化は坂井市の宝物です。新たなにぎわいの創出、文化の保存と継承など、三国湊への想いは地域づくりに発展し、未来へと紡がれていきます。



井上英子さん / NPO法人ボランティアガイドきたまえ三国 理事長



【メッセージ】宝物を未来へ

三国は九頭竜川が日本海に注ぎ込むところにあり、古くから水運で栄えた湊町です。北

前船の交易による豪商たちの繁栄ぶりを知ることができ、情緒あふれる町並みや建物から往時のにぎわいを感じることができます。「きたまえ三国」は、観光客や地域の人、子どもたちに三国の歴史や文化などを案内し、語り継ぐことに取り組んでいます。大切にしているのは「あたたかいおもてなしの心」。楽しかった、また来たいと思っただけのように接しています。三国湊には歴史的遺産や文化遺産が数多く残されています。これらの遺産を誇りに、私たちは語り部として末永く活動していきたいと思っています。



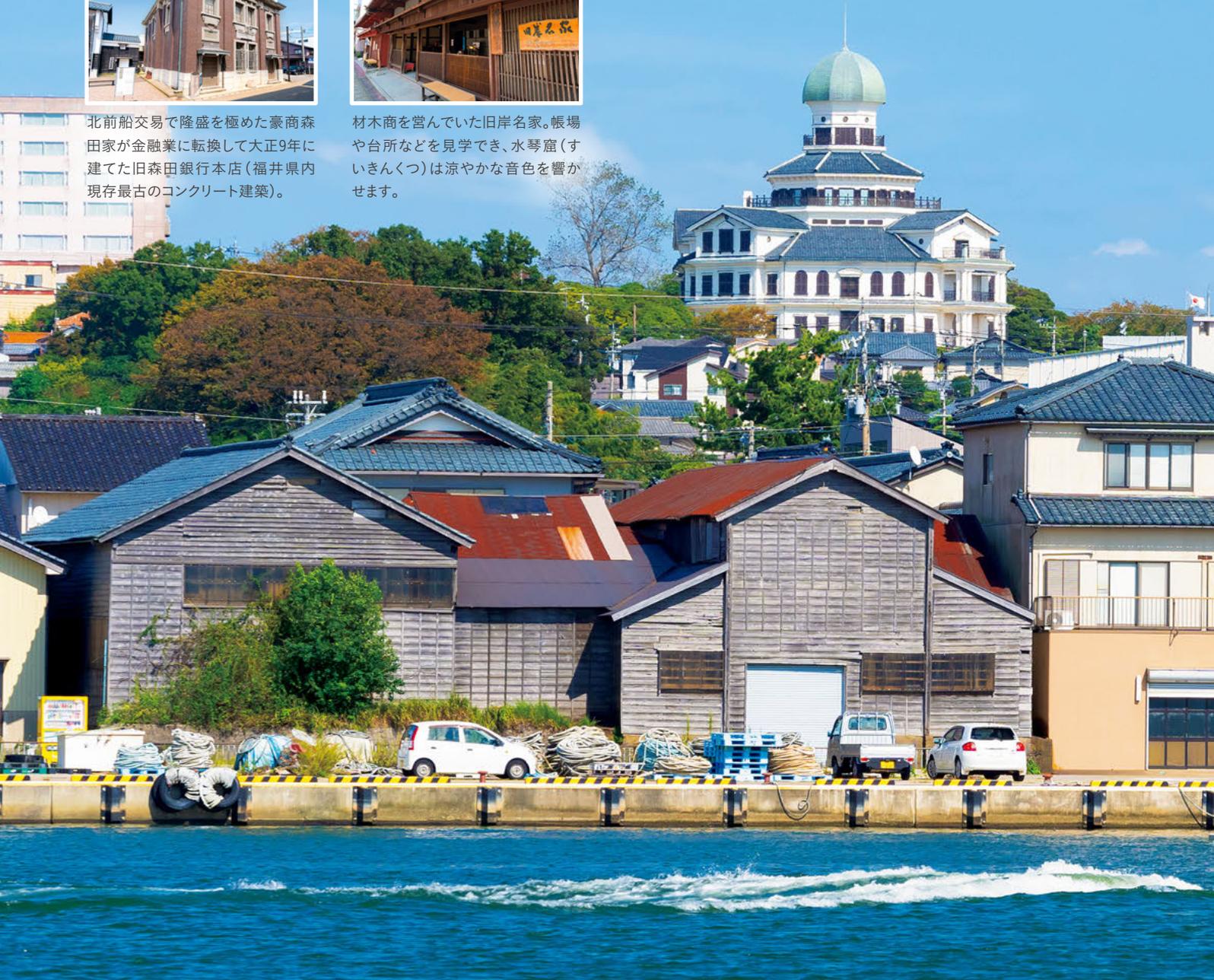
日本海の交易に活躍し、近世日本の経済発展に寄与した北前船(みくに龍翔館に展示されている1/5模型)。



北前船交易で隆盛を極めた豪商森田家が金融業に転換して大正9年に建てた旧森田銀行本店(福井県内現存最古のコンクリート建築)。



材木商を営んでいた旧岸名家。帳場や台所などを見学でき、水琴窟(すいさんくつ)は涼やかな音色を響かせます。



松原ゆうさん / 一般社団法人アーバンデザインセンター坂井 アシスタントディレクター



県内外から多くの若者が参加する三國湊夜咄(よばなし)会。三國について考え、語る会として開催しています。

まちの成長に携わっていきます。

として認識し、見えてきた魅力や課題に向き合っていく楽しさを感じています。地元の人と接しながらまちを歩いてみると、「三國湊」という地域の価値が見えてきます。現在の課題などを乗り越えて未来へ向かっていく意志を含め、深みのあるまちのストーリーが存在していることが三國湊の大きな魅力です。これからも若い世代と活動を共にしながら、新しいアイデアと実践で、三國湊を未来へつないでいくための仕掛けづくりに挑戦していきたいですね。自分自身も積極的に学び、アーバンデザインセンター坂井と一緒に、この



アーバンデザインセンター坂井での活動を通して、初めて自分の故郷三國を一つの「まち」

※アーバンデザインセンター坂井(UDCS)は、公・民・学が連携し、様々な地域の課題を解決しながら「まちづくり」を推進する組織です。

日本一、「心」が集うまち



日本一短い手紙と 一筆啓上賞

「一筆啓上火の用心 お仙泣かすな馬肥やせ」。これは徳川家康の家臣・本多作左衛門重次が陣中から妻に宛てた手紙で、丸岡城には手紙文の碑があります。お仙とは後の初代丸岡



藩主・本多成重なりひらを表し、妻や子を氣遣う優しさが短い手紙の中から伺うことができる、用件を簡潔明瞭に伝えた手紙の正本といわれています。

手紙で家族の安否を氣遣うことは昔も今も変わりありません。「一筆啓上賞」は、活字やメールでは伝わらない本物の手紙文化の復権を目指すという目的で、全国初の手紙のコンクールとして平成5年（1993）に始まりました。

全国へ発信する 手紙文化の心

第1回となった「日本一短い『母への手紙』は、旧郵政省の後援も受け、海外18カ国を含む各地から32236通の応募がありました。第2回か

らは、住友家初代の住友政友が丸岡出身であることから住友グループ広報委員会の支援も始まりました。その後、「ごめんなさい」「ありがとう」「家族」「ふるさと」「父や母との往復書簡」など、「一筆啓上賞」は毎回テーマを決めて実施。日本全国・海外から応募が寄せられ、これまでに140万通を超える手紙が集まりました。そして、平成27年（2015）には、より多くの人々に「手紙文化」に触れてもらいたいという想いのもと、「一筆啓上 日本一短い手紙の館」が誕生。

また、平成19年（2007）から始まった愛媛県西予市の「日本一小さいキャンパス かまぼこ板の絵」とのコラボレーションでは、陶板にしたコラボ作品を東尋坊や丸岡城周辺に設置し、人々の心を癒しています。



「一筆啓上 日本一短い手紙の館」は、「一筆啓上賞 日本一短い手紙」コンクールの歴史と、これまでの入賞作品を紹介しています。

日本一小さいキャンパス かまぼこ板の絵とのコラボ作品



達磨さんか、
転んだ。
達磨さんが
転んだ。
転んだ。
母さんの人生は
七転び八起き。
私……
誇りに思っています。
お母さん
之・藤原伸野

- Letter 3 -

未来に大きな夢を描く子どもたち。

その夢を実現できる方法が

坂井市にはたくさんあります。

つながる心、交わる心

一人ではなく、みんなの笑顔で

このまちは輝き続けます。





三国港で
水揚げされる
最高品質の越前かに

全国的にも高く
評価されている
三国の甘えび



小粒で身がしまり、
繊維が細かい
花らっきょ

大型船の入港など
総合的な開発・整備が
進む福井港



坂井平野に
広がる水田で
収穫される
コシヒカリなどの
福井米



- Letter 3 -

水と大地と人の力 坂井市の 躍動

多様な資源から生まれる
地場産業

県の穀倉地帯である坂井平野を中心に、水稲、麦、大豆、そばといった土地利用型作物の生産が盛んです。特に米では「コシヒカリ」や「ハナエチゼン」を中心に作付けされ、市内ほぼ全域のほ場へパイプライン化された農業用水を供給。米の品質向上が図られています。水産業では、全国的に知名度が高い「越前かに」や「甘えび」を筆頭に、豊富な魚種に恵まれています。

その他、技術力の高い繊維産業など伝統産業の進展や、近年では、農林水産物の魅力を活かした6次産業化の振興、テクノポート福井や福井港の整備などが進んでいます。



多くの企業が立地する
県内最大の工業団地
テクノポート福井



絵付け体験が
旅行者に人気の
郷土工芸品
三国提灯



色鮮やかで
きめ細かい風合いの
細幅織物

(洋服に施すネームタグに使われ、最近では
坂井市の魅力を発信するシティセールス事
業にも一役買っています)



世界中で信頼される
品質を誇る面ファスナー



職人技によって
織られる国内
トップシェアの
浴衣帯



県を代表する
民芸品で
繊細な細工が特徴の
越前竹人形

心を豊かにする

食と観光のまち



四季折々に彩り豊かな
観光交流のまち

坂井市には、年間約140万人が訪れる名勝「東尋坊」や、国内現存12天守の一つである「丸岡城」、日本遺産に認定された三国湊のほか、三国祭や三国花火大会といった大きな集客力を誇るイベント、ブランド力の高い特産品や食など、際立った魅力を持つ観光地や観光資源が多くあります。加えて、2023年春の北陸新幹線敦賀延伸開業は、坂井市にとっても大きな弾みとなります。関東圏など国内の新たなエリアからの観光客、また、外国人旅行者の来訪の拡大を見据えながら、四季折々の彩り豊かな観光資源を活かし、笑顔あふれる観光交流のまちづくりを進めていきます。

越前おろしそば



若狭牛



越前がに



三国温泉



EVENT



4月

丸岡城
桜まつり



4月

竹田の里
しだれ桜まつり



5月

三国祭



6月

ゆり
フェスタ



7月

春江イッチョライ
でんすけ祭り



8月

さかい夏祭り



8月

三国
花火大会



9月

三国湊
帯のまち流し



9月

東尋坊
夕陽ハートカクテル



10月

丸岡
古城まつり



11月

三国湊
かに祭り



11月

そばの里丸岡
新そばまつり



東尋坊

油あげ



コシヒカリ



天守の国宝指定を目指す

丸岡城



国指定の重要文化財である丸岡城は、歴史好きや城ファンから熱烈な人気がある城。平成28年には住民が「丸岡城天守を国宝にする市民の会」を立ち上げ、行政などと連携をしながら丸岡城の価値の見直しや城周辺のにぎわいづくりなど、天守の国宝指定に向けた様々な活動を行っています。



みんなで
こどもの
安全
見守り隊

寄附金充当額
3,456,000円

児童や生徒の登下校時、通学路に立って安全を見守る「こども見守り隊」の着衣を統一。ボランティアを対象に1,000着支給しました。



おかえり
Uターン就職
奨学金返還
支援事業

寄附金充当予定額
1億円

坂井市に定住し、新たに就職する若者を対象に5年間の奨学金返還をサポートしています。次世代を担う若者が笑顔で躍動できるよう、応援しています。



ゆりの里
グレード
アップ
事業

寄附金充当額
1,231,200円

ゆりの里公園に子どもたちが気軽に遊べる遊具(シーソー)を3台設置しました。安心して遊ぶことができ、子どもたちの楽しそうな笑顔が増えました。

まちづくり集

寄附市民参画制度

輝く未来へ…
みんなで創る
希望のまち

～子どもたちの夢を育む
“ふるさと”を目指して～

坂井市の将来像

これを実現していくための基本方針を示した「第二次坂井市総合計画」を策定しました。

計画策定の主旨

坂井市では、これまで培ってきた市民と行政による協働のまちづくりを発展させ、人口減少や少子高齢化の社会であっても持続可能なまちづくりの実現を目指すために、本市が目指す「まちの姿」を描き、

第二次坂井市総合計画



防犯カメラを止めるな！
女性と子どもが安心できる
まちづくり事業
寄附金充当額
3,096,360円

過去に声かけ事案等が発生した場所など計25カ所に防犯カメラを設置しました。未然に犯罪を抑止することができ、地域の安全・安心を守ることができます。



子どもの森
保全事業

寄附金充当額
30,000,000円

子どもたちに自然の大切さや森林の役割を感じてもらい、保護者が子育てを楽しむ場として、「木育toyルーム」や「学校林」を整備しました。



笑顔溢れる
学習環境づくり
プロジェクト

寄附金充当額
72,922,000円

市内の小中学校21校の音楽室や図書室にエアコン計52台を設置しました。特別教室のうち利用頻度の高い教室に優先して設置することにより夏場の学習環境を改善しました。



みんなで広げるまちづくり
坂井市寄附市民参画制度

みんなで広げる

市民が「住みよさ」を実感でき、持続可能なまちとなるためには、行政だけでなく、市民をはじめ、まちづくりに関わる多様な主体がともに考え、行動し、地域の価値を高めていくことが重要となります。

これからもまちづくりの基本は「ひと」であるという姿勢のもと、これまでの将来像の理念を引き継ぎ、次世代を担う子どもたちの夢を育み、すべての人が個性を發揮できるまちづくりを目指します。

施策の大綱

将来像の実現のために6つの施策分野に取り組んでいきます。

- 第1章 みんなで未来につなぐまちづくり……共生・協働
- 第2章 互いに思いやり支えあうまちづくり……福祉
- 第3章 学ぶ意欲を支えるまちづくり……教育
- 第4章 自然と共生できるまちづくり……環境
- 第5章 地域資源を活かし活力に満ちたまちづくり……産業
- 第6章 安全で快適な暮らしを支えるまちづくり……都市基盤



FUKUI

SAKAI



3

霞の郷温泉

市民の健康づくりの
拠点施設



2

たけくらべ広場

春はしだれ桜、
夏は川遊び



1

竹田農山村交流センター ちくちくぼんぼん

体験メニュー満載の
宿泊施設



6

坂井地域交流センター いねす(道の駅さかい)

生産者の顔が見える
農産物直売所



5

丸岡城

全国に12しかない
現存天守の一つ



4

一筆啓上 日本一短い手紙の館

心あたたまる手紙に
触れられる施設

位置と地勢

福井県の北部に位置し、南部には九頭竜川、北部には竹田川が流れ、西部で合流し日本海に注いでいます。中部には広大な坂井平野が広がり、西部には砂丘地と丘陵地が広がっています。

- 人口 91,261人
 - 世帯数 32,113世帯
 - 面積 209.67km²
- ※令和2年3月現在

坂井市 City Guide



●大本山永平寺



9
三国温泉 ゆあぼ〜と
 日本海や夕陽を望める温泉施設



8
東尋坊
 圧倒的な断崖美と雄大な日本海



7
みくに龍翔館
 歴史・文化を紹介する博物館



12
アーバンデザインセンター坂井
 湊町活性化の新しい拠点



11
ゆりの里公園
 6月には15万輪のユリが咲き誇る



10
福井県児童科学館 (エンゼランドふくい)
 子どもたちが一日中遊べる人気施設

Information

坂井市民憲章

彩り豊かな海・山・川と市民が融和する坂井市

大空へ伸びる緑の木々のように

希望に満ちたまちの実現に向けて

ここに市民憲章を定めます

一 青い日本海のすがすがしさ

自然と住みよい環境に恵まれた 坂井

一 白いユリのやさしさ

人々のきずなと安心が広がる 坂井

一 黄金（こがね）波打つ平野の温もり

感謝と思いやりの心を育む 坂井

一 桜に浮かぶ古城の気高さ

誇りある歴史と文化が息づく 坂井

一 真っ赤な太陽の輝き

明るい笑顔と活力があふれる 坂井



【市の花】
ユリ



ユリ科の多年草。純潔・威厳・無垢の象徴とされ、清楚で気品ある花として親しまれています。「ゆりの里公園」では栽培も行われており、6月になるとユリ科の花が華麗に咲き誇り、多彩なイベントが開催されています。



【市の木】
サクラ



バラ科の落葉樹。春を象徴する花木として、日本人に古くから親しまれています。霞ヶ城公園は「日本さくら名所100選」に選定されており、4月には桜まつりが開催され、市民の憩いの場としてにぎわっています。



【市の鳥】
カモメ



カモメ科の冬鳥。海や港町をイメージさせる鳥であることから、市が海に面していることが感じ取れます。晩秋の頃オホーツク海北部から飛来し、餌を求めて飛び交う姿は、三國港の冬の名物として親しまれています。

市章



坂井市のイニシャル「S」と、日本海をモチーフにデザイン化しています。豊かな自然の緑を基調として、坂井平野と日本海を照らす太陽に明日への熱い情熱を重ねています。躍動感と力強さを表現しました。

【姉妹都市】 宮崎県延岡市



東九州随一の工業集積を誇り、宮崎県北の中心都市として発展を続ける都市。延岡藩の城主であった有馬公と丸岡藩との縁から姉妹都市の盟約を結んでいます。ジュニア交流隊事業など、各分野の交流を通じて親善友好の絆を深めています。

坂井市都市宣言

- 安全安心都市宣言(平成19年4月15日)
- 非核平和都市宣言(平成19年4月15日)
- 環境都市さかい宣言(平成21年11月8日)
- 男女共同参画都市宣言(平成24年11月17日)
- 健康都市宣言(平成26年11月8日)

一筆啓上 未来の坂井市へ

坂井市が紡いできた、たぐさんの「心」。

心が通い合い、つながり合うことで

人は笑顔になり、

まちは豊かになっていきます。

本当のしあわせを見つけられるまちへ

坂井市は、市民一人ひとりが

心から笑顔になれるまちを実現します。



Letters

—坂井市市勢要覧—



坂井市秘書広報課
令和2年(2020)3月発行

〒919-0592 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地

電話：0776-66-1500

メール：kouhou@city.fukui-sakai.lg.jp

<https://www.city.fukui-sakai.lg.jp>